

石川県



七尾城

富山県

金沢城

鳥越城

34 七尾城

--- 100名城 ---

2019.2.11



34 七尾城 --- 100名城---

石川県の二つ目です。城跡の麓は全く雪がないのに、城跡(標高300m)では雪が20cm程積もっていました。

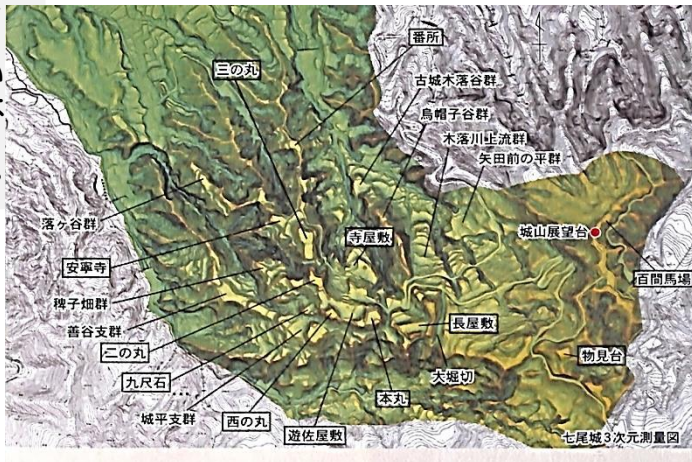
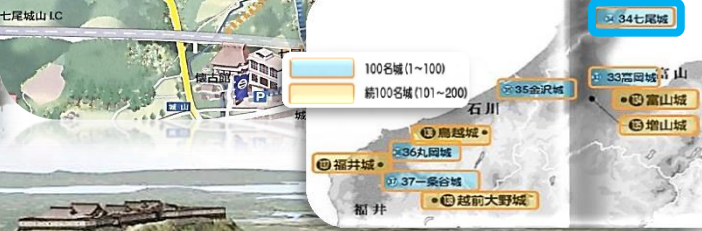
写真の状態なので、残念ながら玄蕃尾城跡(FB-006で紹介)のように歩いてみて回る事ができなかったのが残念でした。それでもパンフレットにあるように、山を切り拓いた広大な土地・敷地跡は想像に難くありません。

機会があればリベンジしたいです。その時はお知らせします。



七尾城本丸(復元CG)

七尾城は標高約300mの山上に築かれた能登守護畠山氏の居城。七尾という地名は、七尾城が築かれた松尾・竹尾・梅尾・菊尾・亀尾・虎尾・龍尾の七つの尾根に由来するといわれ、本丸の置かれた松尾から松尾城、末尾城の別名がある。この城を上杉謙信が10ヶ月におよぶ攻防の末やっと陥落させた。その後、織田信長の侵攻によって能登は征服されて前田利家に与えられ、利家が金沢城へ移った後、七尾城は廃城となる。



特盛からの眺望(七尾市街)



九尺石を含む石垣



樺馬場に向かう石段と石垣



本丸外切形

七尾城中心部散策コース

(本丸駐車場 → 本丸 → 二の丸) 約10分

(約8分 三の丸 → 本丸駐車場) 約20分

所要時間: 50分



展望台



展望台入口



七尾城本丸CG

34 七尾城
--- 100名城 ---
2019.6.3



前回雪の為登ることができなかったで、そのリベンジでやってきました。やはりきてみて良かったというのが実感です。前回の写真も交えて紹介します。



七尾城本丸CG



本丸から望む七尾市街



七尾城本丸への階段と石垣



七尾城本丸跡に立つ石碑



往時を偲ぶ石垣(桜馬場(さくらのばば))



桜馬場に向かう石段と石垣

遊佐屋敷跡
この曲輪は、本丸のすぐ西側に接し、七尾城跡の中心部にあり、ここから城主に次ぐ守護代の地位にあった遊佐氏の屋敷跡が伝えられている。



調度丸の石壁



本丸跡と城山神社

35 金沢城

--- 100名城 ---
2019.2.12



35 金沢城 --- 100名城---
今年2月 冬季閉鎖の鳥越城(石川)・増山城(富山)以外の4城を1泊で回ってみようと出発しました。
金沢城は皆さんもよくご存知のように元金沢大があったところで兼六園の北西部に位置し、観光名所で良く知られています。私も数回訪れていますので、今回は時間の関係上スタンプのみで行ってきました。過去の写真も交えてご紹介します。



DigitalDaiku
「3D城郭ライブラリー」より



金沢城の石垣

金沢城は「石垣の博物館」とも言われ、多種多様な石垣が現存しています。城の周りには野趣に富む高石垣、藩主の御殿や庭園周りにはデザイン感覚にあふれる石垣群を築くなど、場所によって石垣様式を使い分けています。

自然石積み	粗加工石積み	切石積み
ほとんど加工のない自然石を積み上げる技法。古い時代の石垣にみられる。	形や大きさをそろえた滑石を用いて積み上げる技法。	石同士の間隙部分を隙間なくくくして積み上げる技法。



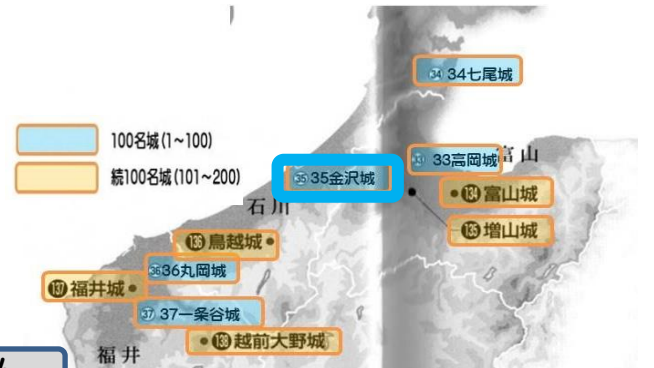
2019.2.12



2016.4.3



おかあちゃん

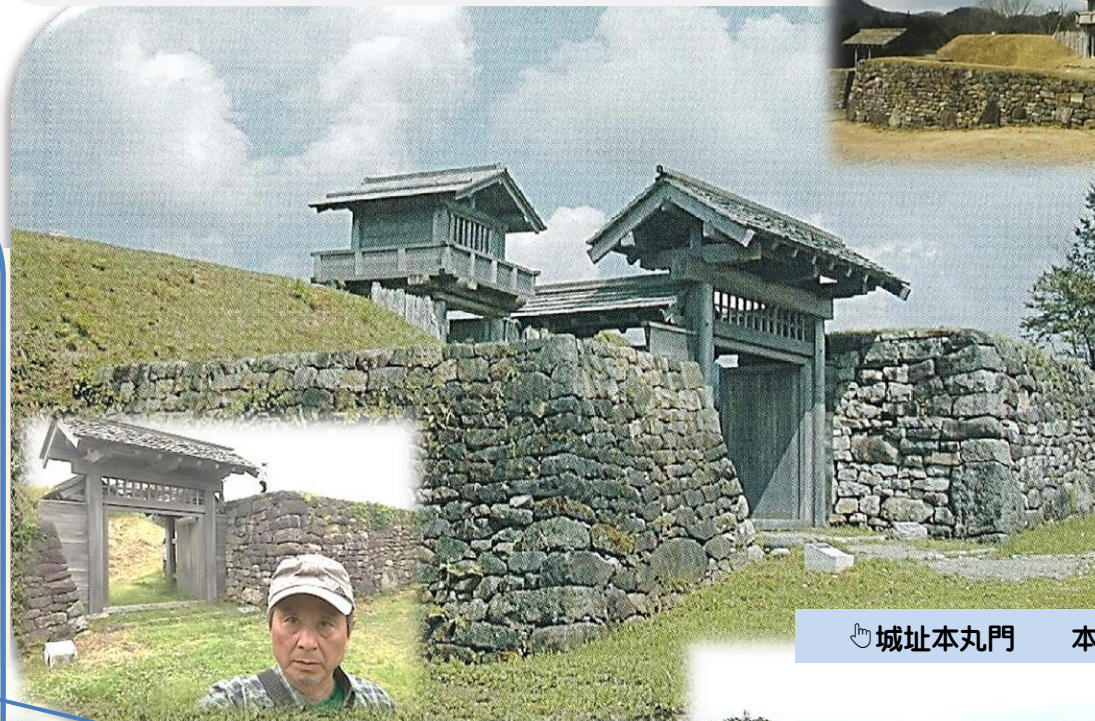




136 鳥越城 --- 続100名城---

石川県最後の三つ目のお城・鳥越城です。前回2月の城巡り時に、冬季閉鎖となっていた2城(この鳥越と増山城(富山県))を一泊(七尾泊で七尾城リベンジ)で巡ってきました。
この越中(石川県から富山県にかけて)での戦国時代における庶民(特に農民)の壮絶な生きざまを、この城址展示紹介している「一向一揆歴史館」で観たときには鳥肌の立つ思いでした。
一揆と云っても、土一揆・国一揆・一向一揆と農民の生死を分けたどうしようもない奮起、それを政治的・宗教的に利用され、しがらみで戦うしか生き延びる術がない農民の姿が、展示・紹介されており、本当にいまの時代に生きて良かったとつくづく実感します。

史跡鳥越城跡のご案内



城址本丸門 本丸跡



切山城跡



松根城跡

復元イラスト
作成:香川元太郎

